

鴻池新田会所 秋季行事案内

2006

各行事に参加される方は、会所の観覧料が必要です。

山崎氏は昭和49年の弓ヶ濱好一襲名披露を裏方で支えた人です。準備に奮闘したようすや当日のようすについてスライドをまじえてお話しいただきます。

飯田氏は大阪相撲研究の第一人者です。大阪相撲とは、江戸相撲とも大相撲を担った大阪のプロ相撲集団をさします。昭和2年、この大阪相撲と東京相撲が合併して日本相撲協会が誕生しました。この講演では、江戸時代以来の伝統をもつ大阪相撲の歴史を、素人相撲との関係などに焦点をあてて、お話しいただきます。

歴史講演会

山崎隆司氏(頭取弓ヶ濱好一長男)
「ワシが知ってる村相撲」

飯田直樹氏(大阪歴史博物館)
「大阪相撲の歴史」

10月8日(日)午後1時～3時
定員 先着80名 於:本屋



体験学習

綿くり・綿うち・糸つむぎ

会所で栽培した棉をつかって、糸を作る工程を体験していただきます。当日午前中、小中学生は入館無料です。

11月18日(土)午前10時～午後3時
随時受付・自由参加 於:本屋

特別展

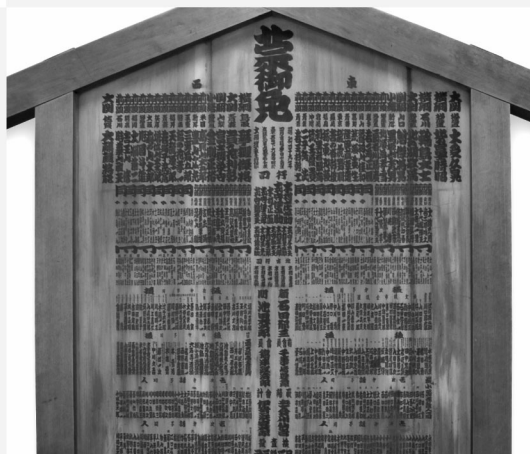
村相撲の風景

9月23日(土・秋分の日)～11月26日(日) 於:乾蔵

かつて河内の村々には、力自慢が寄り集まる素人の「相撲部屋」がありました。秋祭りの時期にはあちこちの神社で夜相撲が、時にはプロの力士を呼んで盛大な興行が催されていました。各村の相撲部屋を取り仕切った頭取はかつての大阪相撲とつながりをもち、村の若者を大相撲に送り出すこともありました。

このような村相撲は江戸時代の終わりがらから終戦直後まで盛んでしたが、戦後の経済成長とともに、次第に姿を消しました。本特別展では、河内に残る村相撲関係資料を展示し、往時の村相撲の盛況ぶりをご覧ください。

主な展示資料
相撲板番付・化粧廻し・御幣・明荷・連名板・写真資料など
展示期間中、村相撲の記録ビデオを上映



相撲甚句は江戸時代享保年間にはすでにあつたといわれています。地方巡業や引退相撲、花相撲などで唄われ、その哀歓あふれる調子で人々の心をひきつけてきました。

今回の伝統芸能鑑賞会では、近畿相撲甚句会のみなさんに相撲甚句を披露していただきます。轟友会による和太鼓演奏も必見です。



伝統芸能鑑賞会

相撲甚句と和太鼓

出演 近畿相撲甚句会・轟友会

10月29日(日)午後1時30分～3時
定員 先着80名 於:本屋



体験学習

しめ縄づくり

指導 関谷 廣氏

正月の玄関を飾るしめ縄を作っていました。

12月10日(日)午前10時30分/午後2時
定員各20名 事前申込制

11月19日(日)午前10時より電話およびインターネットで先着順受付